



「ずぼらガーデニング」

Wa!

●美唄歯科医師会会員
平 和隆



「お庭綺麗ですね」と患者さんが言ってくれる。マスクの中でやけながらも「まだまだお見せできるものではなくてお恥ずかしい限りです」と答える。いつの間にかずっとこのような庭であったかのように皆さんは思ってくる。まるで街なかの建物が建て替えられてしまうと以前の状態を思い出せなくなるように。

ガーデニング好きの歯医者になってしまったのは、こういった経緯があった。

開業時、医院の周りに芝があるとかっこいいと単純に思い、設計士さんをお願いした。今になって思えば後の祭り。芝というものが維持するのにどれだけ大変か・・・あつという間に雑草畑。数年後には立派なスギナとタンポポ畑に。それでも見ないふりを決め込みさらに数年。さすがに近所でもささやかれ始め実家の親の耳にも届き時々「きれいにしたらどうなの」と言われる始末。

そんな折、友人が見かねて「勝手に花畑にしていいいかい？」と一緒に飲んでいたら申し出てくれた。そんな友人に対して「野菜畑にしなければ勝手にして良いよ」と高飛車に酔った勢いで言ってしまった。

翌年の雪も解け暖かくなり始めたある日の朝、我が家の外が何か騒々しい。すっかり友人に言った事を忘れていた私は外を見てしばし言葉を失ってしまった。友人たち数人が庭を耕しているではないか。それでも私は手伝うでもなく「勝手にしていいよ」と出かけてしまった。夜帰宅してみるとそこにはりっぱな花畑が出来上がっていた。

翌朝窓の外を見てみるとやはりそこには畑がある。翌日もその翌日も「あれっ」何か様子が違う。「そうだ。水だ」友人は手入れに関してはしてくれないようだ。翌朝から私の水遣りが始まる。そうこうしているうちに雑草取り。台風が来そうになると支えを付ける。周りから綺麗と言われ始め

その気になってくる。近所のおじさんから「石灰を入れたら良いよ」などと言われやってみる。色とりどりの花が咲いて来る。なんだか楽しくなってきた。ホームセンター通いが始まる。こうして、すっかり自他共に認めるガーデニング好きの歯医者になってしまった。

しかし元来花を見るのは好きな私だが、育てるのはちょっとという状態だったので、見て楽しむのが7なら育てる作業は3以下。見えないところはとことん手を掛けない状態。水遣りのホースも巻き取ったりしない。

花だけと言っていた私もトマトやジャガイモ、イチゴなど少しずつ野菜などが増えてきて、最近「うちのが一番おいしい」などと平気で言いのける今日この頃。

ガーデニングの効果

- 1、患者さんとの話題が増えたこと。
- 2、朝しか手入れが出来ないので早寝早起きになった。朝ご飯も美味しくいただける。
- 3、体を動かすので、体重が減った。
- 4、野菜をとる量が確実に増えた。(自分で収穫したものは残さず食べるため)

※もちろんターシャチューダーに成れるわけがない。



次号は小樽市歯科医師会会員の上浦庸司先生です。